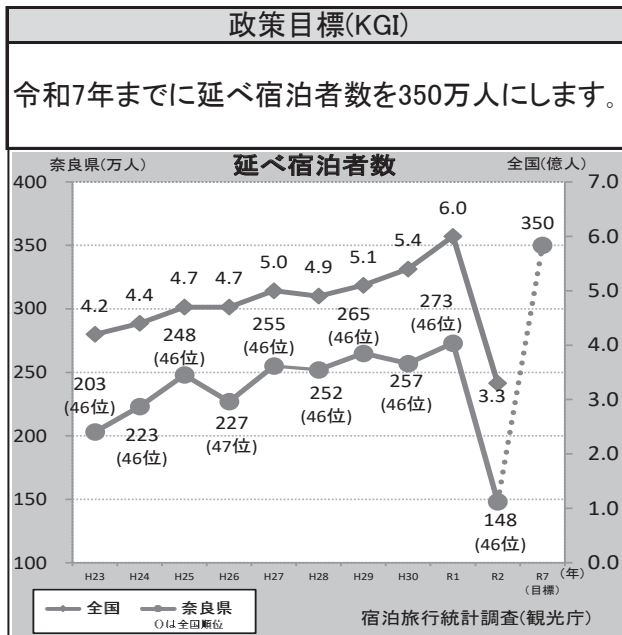


Ⅱ 賑わう「都」をつくる

坊
3 滞在型観光の定着

担当部局等
産業・観光・雇用振興部、観光局 地域デザイン推進局

政策目標(KGI)達成に向けた進捗状況



基準値	実績値(a)	進捗状況		目標値 (達成率)
		目安値(b)	進捗率(a/b)	
H23年	R2年 ▲55 万人	R2年	49.7%	R7年
203 (46位)		297.5	③90%未満	350 (基準値未満)
指標の評価(基準値からの動向、直近の動き、進捗状況等)				
奈良県の延べ宿泊者数は近年増加傾向にありましたが、令和2年の延べ宿泊者数は148万人と、前年比125万人(45.7%)の減少となり、基準値を下回りました。				
背景・要因等				
新型コロナウイルス感染症拡大により、政府の緊急事態宣言が全国に発出されたことに伴う都道府県をまたぐ移動の自粛や、入国規制等による外国人観光客数の減少が影響し、延べ宿泊者数が減少しました。				

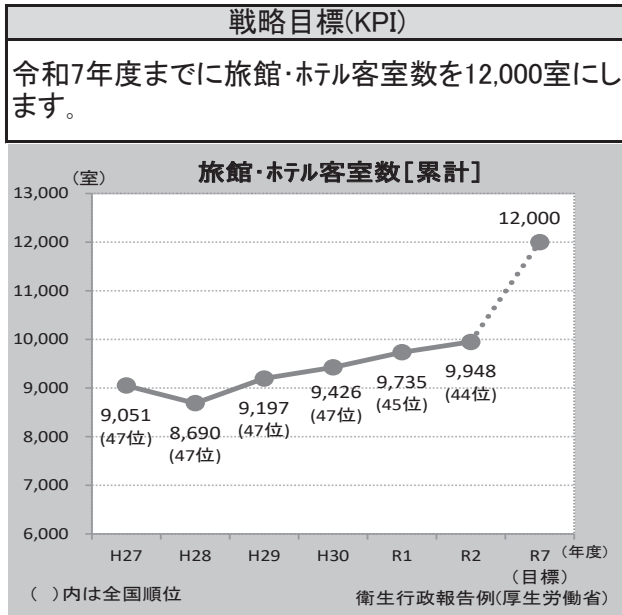
関連する戦略目標(KPI)の進捗状況

テーマ 戦略目標(KPI)	基準値	実績値(a)	進捗状況		目標値 (達成率)
			目安値(b)	進捗率(a/b)	
(12) ホテル誘致 令和7年度までに旅館・ホテル客室数を12,000室にします。	H27年度 9,051	▲ + 897 室 9,948	R2年度 10,526	94.5% ②(90~100%)	R7年 12,000 (30.4%)
(13) 奈良県コンベンションセンターを活用した観光振興 令和6年までに国際会議開催件数を80件にします。	H22年 36	▲ ▲33 件 3	R2年 67.4	4.4% ③90%未満	R6年 80 (基準値未満)
(14) 奈良公園周辺地区のホテル整備 吉城園周辺地区については、奈良公園の風情に調和した宿泊施設の整備を促進し、令和4年度のまちびらきを目指します。	令和3年10月に解体工事を行い、令和4年2月に本工事に着手しました。				
(15) 多様な滞在の仕方の推進 令和6年度までに修学旅行宿泊者数を20万人にします。	H23年度 23.1	▲ ▲18.3 万人 4.8	R2年度 21.0	22.9% ③90%未満	R6年度 20 (基準値未満)
(16) 宿泊予約便利性の向上 令和3年度に宿泊施設のICT対応状況を取りまとめます。	県内宿泊施設を対象にデジタル技術活用等に関する調査を実施し、調査結果を踏まえた「奈良県宿泊施設のデジタル技術を活用した取組事例集」を令和4年3月に作成しました。【KPI達成】				

各テーマの戦略目標(KPI)達成に向けた進捗状況

坊	3 滞在型観光の定着
テーマ	(12) ホテル誘致

CC(チーフコーディネーター)
産業・観光・雇用振興部
企業立地推進課長



基準値	実績値(a)	進捗状況		目標値 (達成率)
		目安値(b)	進捗率(a/b)	
H27年度	9,051 + 897 室	R2年度	R2年度	94.5%
				②(90~100%)
	9,948	10,526		12,000 (30.4%)

指標の評価(基準値からの動向、直近の動き、進捗状況等)

令和2年度の県内旅館・ホテル客室数は平成27年度から897室増加し、9,948室となりました。全国順位は44位で、前年比1順位上昇、進捗率は94.5%となっています。

背景・要因等

今後のインバウンド需要を見込み、国内外のホテル事業者から魅力的な立地先として注目されています。継続して取り組んでいるホテル誘致の成果もあり、ホテルの新規開業が進み、客室数は増加傾向にあります。

KPI達成に向けた取組・成果	
取組①	近年増加傾向にあるホテル立地を更に加速させるため、令和3年8月に、宿泊施設立地促進補助金を創設しました。
成果①	令和3年度は2件の事業認定を行いました。これらは令和5年度に開業予定で、客室数が482室増加する見込みです。
取組②	宿泊施設の立地促進のため、平成26年度から宿泊施設育成支援資金利子補助を行っています。
成果②	令和3年度は2件の事業認定を行い、平成26年度からの延べ認定件数は、61件となっています。

KPI関連指標	指標の動き						指標の動きの要因
宿泊施設立地促進補助金の活用件数(件)							R3年度
							2
宿泊施設支援資金利子補助の活用件数(件)	H30年度	↗	R1年度	↘	R2年度	→	R3年度
	6	+2件	8	▲6件	2	+0件	2
							令和3年度に宿泊施設立地促進補助金を創設し、事業者に周知しています。
							宿泊施設の立地促進等のため、金融機関等に制度を周知しました。

進捗状況を踏まえた課題の明確化、課題解決のための今後の取組方針

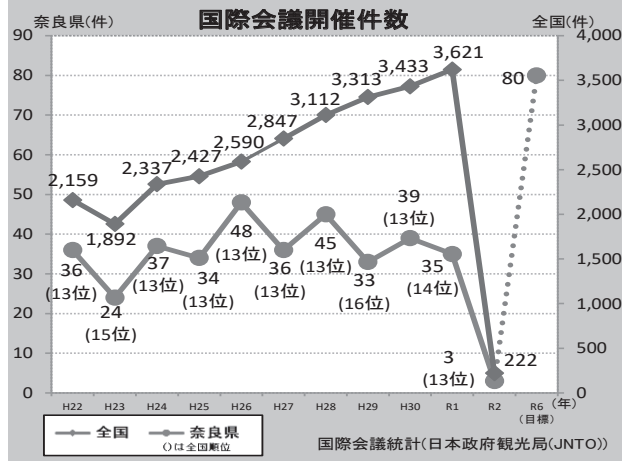
KPI達成等に向けた課題	課題の背景・要因	課題解決のための今後の取組方針
宿泊事業者等へ補助制度や用地情報の更なる周知が必要です。	<p>近年、国内外のホテル事業者からホテル立地先としての奈良県の注目度は高まりつつあり、新規開業見込みも増えています。ホテル新規開業の勢いを止めないためにも、補助制度など立地インセンティブのPRや用地情報の確保が必要です。</p> <p>今年度の取組(~7月)</p> <p>宿泊施設設置事業者をはじめ、金融機関や開発事業者に対し、機会を捉えて補助制度のPRに努めています。</p>	<p>金融機関や開発事業者など、宿泊事業者の立地支援を行う関係機関に対し、補助要綱を配布するなど、積極的に制度をPRします。併せて、ホテルの立地に適切な用地情報を収集し、立地検討事業者へ情報提供やマッチングを積極的に行います。</p>

各テーマの戦略目標(KPI)達成に向けた進捗状況

坊	3 滞在型観光の定着
テーマ	(13) 奈良県コンベンションセンターを活用した観光振興

CC(チーフコーディネーター)
観光局
MICE推進室長

戦略目標(KPI)
令和6年までに国際会議開催件数を80件にします。



基準値	実績値(a)	進捗状況		目標値 (達成率)
		目安値(b)	進捗率(a/b)	
H22年	R2年	R2年	4.4%	R6年
36	▲33件	3	67.4	80 (基準値未滿)

指標の評価(基準値からの動向、直近の動き、進捗状況等)

県内における国際会議実施件数は、近年概ね横ばいで推移していましたが、令和2年度の実績値は3件と基準値より大幅に減少しました。

背景・要因等

令和2年は奈良県コンベンションセンターを開業し、県内外での積極的な誘致活動や国内の商談会へ出展したものの、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、国際会議の開催は事実上困難な状況に陥り、開催件数は大幅に減少しました。

KPI達成に向けた取組・成果

取組①	令和3年度はウイズコロナを見据えて、外務省や駐日大使館への情報提供や、国内最大級のMICE商談会に出展し、コンベンション開催地として奈良をPRしました。	成果①	大規模国内会議やオンライン・ハイブリッド会議を開催し、今後の国際会議誘致に繋がる受入体制の構築と新しい会議形式に対応するノウハウを得ました。また、誘致活動を展開していた第7回UNWTOガストロミーツーリズム世界フォーラムの令和4年奈良県開催が決定しました。
取組②	ICCA(国際会議協会)への情報提供や、ICCA年次総会のハブ会場に出席し、国内外のMICE関係者との連携を図り、情報の収集や提供を積極的に行いました。	成果②	ICCAサイト内にプレスリリースを2件掲載し、6つの海外メディアで情報を取り上げられるなど、コンベンション開催地としての奈良県のプレゼンス向上を図りました。また、日本政府観光局(JNTO)の事業において、奈良県のバーチャル視察動画が制作されました。

KPI関連指標	指標の動き				指標の動きの要因
	R1年度	R2年度	R3年度		
コンベンション誘致件数(件)	160	▲141件	19	+8件	引き続き新型コロナウイルス感染症の影響により、件数は伸び悩みました。

進捗状況を踏まえた課題の明確化、課題解決のための今後の取組方針

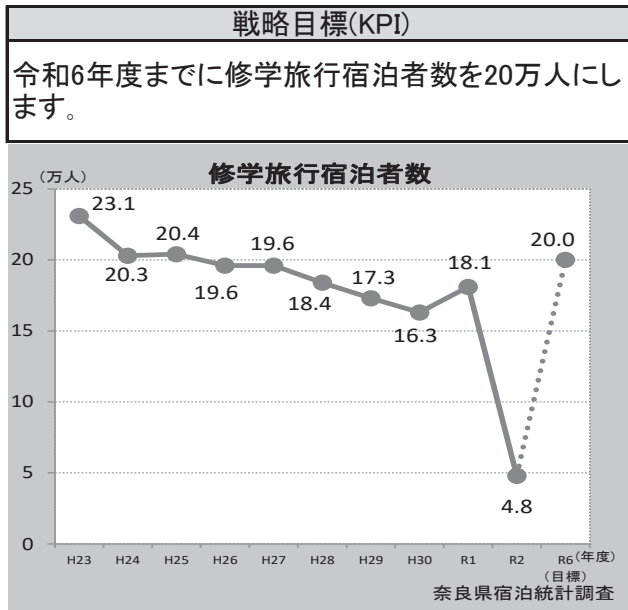
KPI達成等に向けた課題	課題の背景・要因	課題解決のための今後の取組方針
依然として国際会議開催が難しい状況が続いています。	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により国際会議の開催は限定的となり、またオンラインやハイブリッド開催といった会議形態が急速に広まったことで、現地会議の誘致件数が伸び悩んでいます。</p> <p>今年度の取組(~7月)</p> <p>令和5年以降に開催を予定している国際会議に対して、誘致活動を展開しました。</p>	<p>引き続き、国内外のMICE(注)関係者との連携を図り、情報収集を行うとともに、国内外のMICE商談会、見本市への出展によるPRを行います。</p> <p>コンベンション施設、観光振興施設、ホテル等が一体となった観光拠点としての利点を生かし、新たな賑わいを創出します。あわせて、コロナ禍で需要が増加しているハイブリッド会議に対応するため、Wi-Fi環境を強化するなど、コンベンション施設としての利便性を高めます。</p>

(注)MICE… Meeting, Incentive travel, Convention, Exhibition/Eventの頭文字であり、多くの集客交流が見込まれるビジネスイベント等の総称

各テーマの戦略目標(KPI)達成に向けた進捗状況

坊	3 滞在型観光の定着
テーマ	(15) 多様な滞在の仕方の推進

CC(チーフコーディネーター)
観光局
ならの観光力向上課長



基準値	実績値(a)	進捗状況		目標値(達成率)
		目安値(b)	進捗率(a/b)	
H23年度	R2年度	R2年度	22.9%	R6年度
23.1	▲18.3 万人	21.0	③90%未満	20 (基準値未満)

指標の評価(基準値からの動向、直近の動き、進捗状況等)

奈良県の修学旅行宿泊者数は減少傾向にありました。令和2年度の修学旅行宿泊者数は4.8万人と、前年度比▲13.3万人(▲73.4%)に減少し、基準値を下回りました。

背景・要因等

修学旅行宿泊者数は、少子化の進展による学校数や1校あたりの生徒数の減少により、緩やかな減少傾向にありました。さらに、令和2年度の修学旅行宿泊者数は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響による修学旅行の中止・延期により、大幅に減少しました。

KPI達成に向けた取組・成果			
取組①	首都圏での修学旅行セールスに取り組みました。	成果①	首都圏の緊急事態措置やまん延防止等重点措置の発出により、学校や旅行会社への訪問が禁止され、セールス件数は大幅に減少しました。
取組②	県内宿泊施設の利用者へ安心と信頼を感じていただくため、新型コロナウイルス感染防止対策等施設認証制度を創設しました。	成果②	令和3年度においては、337施設の認証を行い、利用者に適切な感染防止対策が行われている施設であるという安心と信頼を提供することができました。

KPI関連指標	指標の動き				指標の動きの要因			
修学旅行セールス件数(件)	H30年度	↘	R1年度	↘	R2年度	↘	R3年度	令和3年度に全国的な行動制限が実施されたため大幅に減少しました。
	139	▲22 件	117	▲19 件	98	▲77 件	21	

進捗状況を踏まえた課題の明確化、課題解決のための今後の取組方針

KPI達成等に向けた課題	課題の背景・要因	課題解決のための今後の取組方針
一度中止または旅行先が変更された修学旅行について、感染症が終息した後の旅行先を奈良県に戻すことが必要です。	<p>新型コロナウイルス感染症対策のための全国的な行動制限の影響により、修学旅行の中止や、旅行先が修学旅行実施校の近隣府県等へ変更されました。</p> <p>今年度の取組(～7月)</p> <p>奈良県修学旅行誘致促進補助金の利用促進の周知を図りました。</p>	<p>コロナ禍以前の宿泊校や新たな宿泊校を獲得するため、新たにターゲット分析を行い、積極的な情報提供やセールス活動により奈良への修学旅行の誘致促進を図ります。</p> <p>首都圏における学校関係者や旅行会社への情報提供やセールス活動等を積極的に実施し、新たな宿泊校獲得を図ります。</p>

数値目標が設定されていないテーマ等の進捗状況、課題の明確化、今後の取組方針

坊	3 滞在型観光の定着	CC	地域デザイン推進局
テーマ	(14) 奈良公園周辺地区のホテル整備		奈良公園室長
戦略目標(KPI)		進捗状況及び取組・成果	
<p>吉城園周辺地区については、奈良公園の風情に調和した宿泊施設の整備を促進し、令和4年度のまちびらきを目指します。</p>		<p>令和3年10月に解体工事を行い、令和4年2月に本工事に着手しました。</p>	

KPI達成等に向けた課題	課題の背景・要因	課題解決のための今後の取組方針
<p>令和5年夏のまちびらき目指し、官民の綿密な調整が必要です。</p>	<p>新型コロナウイルス感染状況を鑑み、まちびらきに向けた事業計画の見直しを行ったため、工事の着手時期が変更となり、まちびらきの予定時期が令和5年の夏に変更となりました。</p>	<p>令和5年夏のまちびらきに向けて、宿泊施設等の民間施設整備が遅延することのないよう、官民で連携して事業を推進していきます。</p>
	<p>今年度の取組(~7月)</p>	
	<p>令和4年2月に工事に着手し、まちびらきを目指して事業を推進しています。</p>	

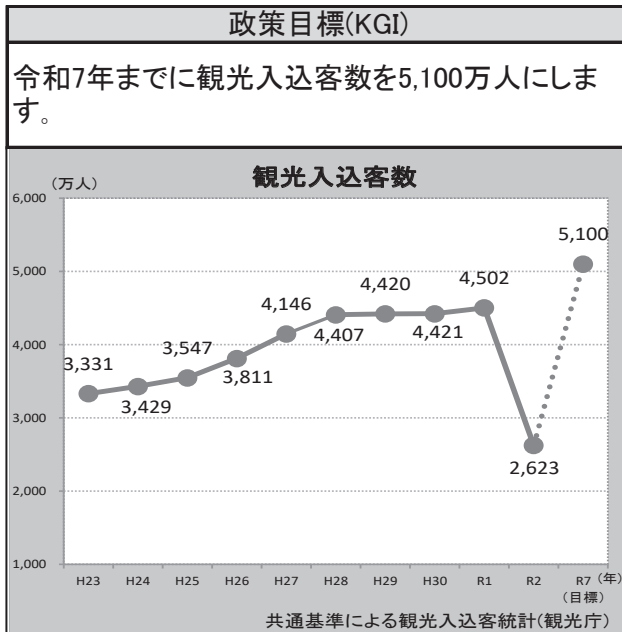
坊	3 滞在型観光の定着	CC	観光局
テーマ	(16) 宿泊予約便利性の向上		ならの観光力向上課長
戦略目標(KPI)		進捗状況及び取組・成果	
<p>令和3年度に宿泊施設のICT対応状況を取りまとめます。</p>		<p>県内宿泊施設を対象にデジタル技術活用等に関する調査を実施し、調査結果を踏まえた「奈良県宿泊施設のデジタル技術を活用した取組事例集」を令和4年3月に作成しました。【KPI達成】</p>	

II 賑わう「都」をつくる

坊
4 魅力ある観光地づくり

担当部局等
文化・教育・くらし創造部、観光局 県土マネジメント部、地域デザイン推進局

政策目標(KGI)達成に向けた進捗状況



基準値	実績値(a)	進捗状況		目標値 (達成率)
		目安値(b)	進捗率(a/b)	
H23年	↘	R2年	R2年	58.7%
3,331	▲708 万人	2,623	4,468	③90%未満 (基準値未満)
指標の評価(基準値からの動向、直近の動き、進捗状況等)				
奈良県の観光入込客数は近年増加傾向にありましたが、令和2年の観光入込客数は2,623万人と、昨年比1,879万人(41.7%)の減少となり、基準値を下回りました。				
背景・要因等				
新型コロナウイルス感染症拡大にかかる政府の緊急事態宣言の発出により、4月から5月は観光施設の臨時休業やイベント行事の中止等の影響を受けて大きく落ち込みました。緊急事態宣言解除後も、県境をまたぐ移動自粛の呼びかけや、各観光施設における休園・休館や営業時間の短縮等により、昨年を下回る結果となりました。				

関連する戦略目標(KPI)の進捗状況

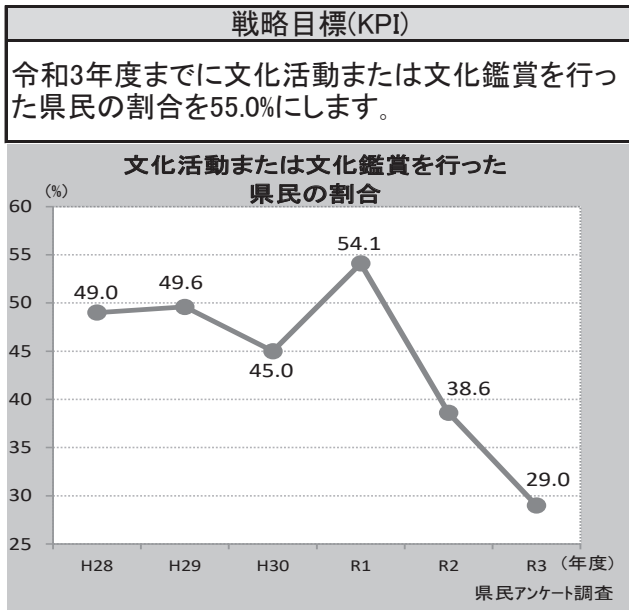
テーマ	基準値	実績値(a)	進捗状況		目標値 (達成率)
戦略目標(KPI)			目安値(b)	進捗率(a/b)	
(17) 奈良公園・猿沢池周辺のアメニティ向上					
奈良公園全体のアメニティを向上させるとともに、猿沢池周辺の環境整備を図ります。					
鹿苑は令和7年度の完成を目指し、整備を進めます。					
(18) 奈良公園周辺の交通改善・ぐるっとバス運営					
奈良公園周辺の交通環境改善に向け、平城宮跡南側に暫定整備する駐車場は令和3年秋の運用開始を目指して整備を行います。					
(19) 県立文化会館・美術館と周辺地域の整備	H28年度	↘	R3年度	R3年度	52.7%
令和3年度までに文化活動または文化鑑賞を行った県民の割合を55.0%にします。	49.0	▲20.0 ポイント	29.0	55.0	③90%未満 (基準値未満)

テーマ 戦略目標(KPI)	基準値	実績値(a)	進捗状況		目標値 (達成率)
			目安値(b)	進捗率(a/b)	
(20) 大宮通り・近鉄奈良駅周辺の景観・環境整備 大宮通りの景観・環境整備を引き続き進めます。					
近鉄奈良駅前の景観・環境整備を地元商店街・地元自治会の人々と協力して進め、令和4年度中に整備内容を決定することを目指します。					
(21) 大極殿院南門、平城宮跡東側、平城宮跡南側の整備 平城宮跡東側の歴史体験学習館は令和7年度の完成を目指します。					
平城宮跡南側に暫定整備する駐車場は令和3年秋の運用開始を目指して整備を行います。					
(22) 中町「道の駅」の整備 令和5年度の道の駅の供用開始を目指します。					
(23) 自転車の周遊環境整備と安全利用 世界遺産周遊サイクルルートの整備を推進します。					

各テーマの戦略目標(KPI)達成に向けた進捗状況

坊	4 魅力ある観光地づくり
テーマ	(19) 県立文化会館・美術館と周辺地域の整備

CC(チーフコーディネーター)
文化・教育・くらし創造部
文化振興課長



基準値	実績値(a)	進捗状況		目標値(達成率)
		目安値(b)	進捗率(a/b)	
H28年度	R3年度	R3年度	52.7%	R3年度
49.0	▲20.0 ポイント	55.0	③90%未満	55.0 (基準値未満)

指標の評価(基準値からの動向、直近の動き、進捗状況等)

令和元年度に54.1%となり、目標に向かい増加傾向にありました。しかし、令和2年度以降は減少傾向が続き、令和3年度は令和2年度に比べ9.6ポイント減少し、目標値には届きませんでした。

背景・要因等

令和元年度まで「ムジークフェストなら」の開催や県立美術館での特別展の開催に精力的に取り組んだことにより増加傾向にありました。しかし、令和2年度以降、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため各種イベントを中止するなど、活動制限を受けたことにより、減少傾向が続いています。

KPI達成に向けた取組・成果		
取組	奈良県文化会館のリニューアル工事に向け、基本設計・実施設計に着手しました。	成果
		令和5年度の着工、令和8年度中のリニューアルオープンに向け、令和3年度に計画どおり基本設計を完了しました。

KPI関連指標	指標の動き						指標の動きの要因	
県立ジュニアオーケストラ(注)の団員数[累計](人)	H30年度	↗	R1年度	↘	R2年度	↗	R3年度	結成10年目を迎え、認知度も高まっており、令和3年度は令和2年度に比べ2名増加しました。
	39	+1人	40	▲5人	35	+2人	37	
県立美術館での特別展開催数(催事)	H30年度	↗	R1年度	→	R2年度	→	R3年度	令和元年度に催事数を充実して以降、年間3回の開催を継続しています。
	2	+1催事	3	+0催事	3	+0催事	3	

(注)県立ジュニアオーケストラ…県立文化会館を拠点に活動

進捗状況を踏まえた課題の明確化、課題解決のための今後の取組方針

KPI達成等に向けた課題	課題の背景・要因	課題解決のための今後の取組方針
文化会館の整備とあわせ、奈良公園の文化的魅力を強化し、文化を生かした魅力ある観光地づくりを図り、県民の文化活動を振興する必要があります。	奈良公園とその周辺には、美術館や博物館等が多くありますが、広域に点在していることから、観光客を文化施設に導くためのしかけが必要です。	令和8年度中の文化会館のリニューアルオープンに向け、令和4年度は実施設計を行います。
	今年度の取組(～7月)	
	文化会館の実施設計を進めるとともに、「奈良県文化振興戦略懇話会」を開催し、県と有識者で課題解決に向けた検討を進めました。	「奈良県文化振興戦略懇話会」の意見を踏まえながら、奈良公園内における文化の展示力向上に向けて、展示内容や文化解説等について検討を進めます。

数値目標が設定されていないテーマ等の進捗状況、課題の明確化、今後の取組方針

坊	4 魅力ある観光地づくり	CC	地域デザイン推進局 奈良公園室長
テーマ	(17) 奈良公園・猿沢池周辺のアメニティ向上		
戦略目標(KPI)		進捗状況及び取組・成果	
奈良公園全体のアメニティを向上させるとともに、猿沢池周辺の環境整備を図ります。		猿沢池の水質改善を図るため、奈良国立博物館修景池からの導水施設を整備し流入量を増加させます。令和3年度は、修景池に引込む井戸水の水量を増やすため、井戸の改修工事を行いました。	

KPI達成等に向けた課題	課題の背景・要因	課題解決のための今後の取組方針
猿沢池は年間を通じて、濁りや浮遊物が発生し、景観上問題となっています。	流域が狭く流入水量が少ないため、水質悪化により、夏場において濁り、浮遊物、アオコや臭いが発生しています。	水質改善状況を把握するため、水質調査等の現地調査を継続して実施します。
	今年度の取組(~7月)	
	水質を把握するための調査を実施しました。	奈良国立博物館修景池から猿沢池に導水する水路の新設工事を行います。

戦略目標(KPI)		進捗状況及び取組・成果	
鹿苑は令和7年度の完成を目指し、整備を進めます。		老朽化による劣化が著しい鹿苑の改修として、令和3年度末までに、外周柵改修、および南側造成工事が完了しました。	

KPI達成等に向けた課題	課題の背景・要因	課題解決のための今後の取組方針
鹿苑施設の老朽化や汚濁物質の流出に伴う環境悪化等が課題となっています。	老朽化が著しく、排水施設も未整備であるため、鹿の糞尿が混入した土砂が川等へ流出しています。	鹿苑中央部のシェルターの整備に向け造成工事、建築工事を進めるとともに、浄化施設の整備工事等を行います。
	今年度の取組(~7月)	
	鹿の給餌施設である5棟のシェルターのうち、南棟の建築工事が完了しました。	

坊	4 魅力ある観光地づくり	CC	地域デザイン推進局 奈良公園室長
テーマ	(18) 奈良公園周辺の交通改善・ぐるっとバス運営		
戦略目標(KPI)		進捗状況及び取組・成果	
奈良公園周辺の交通環境改善に向け、平城宮跡南側に暫定整備する駐車場は令和3年秋の運用開始を目指して整備を行います。		令和3年10月に、平城宮跡南側に「県営奈良めぐり平城宮跡前自動車駐車場」が完成し、奈良公園の観光客の駐車場や、バスターミナルの駐機場として活用することで、奈良公園の渋滞軽減に繋がっています。【KPI達成】	

KPI達成等に向けた課題	課題の背景・要因	課題解決のための今後の取組方針
引き続き、奈良公園周辺の交通環境改善が必要です。	令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により観光客が減少したことから、大きな渋滞は発生しませんでした。今後は、バス・自家用車での来訪が増え、再び奈良公園周辺で大きな渋滞が発生する可能性が考えられます。	引き続き円滑な交通運営を図るため、奈良公園バスターミナルを最大限活用していきます。
	今年度の取組(~7月)	
	奈良公園バスターミナルの利用促進による渋滞対策を実施しました。	併せて、パークアンドライドやぐるっとバスの利用促進に努めます。

坊	4 魅力ある観光地づくり	CC	地域デザイン推進局次長 (技術担当)
テーマ	(20) 大宮通り・近鉄奈良駅周辺の景観・環境整備	進捗状況及び取組・成果	
戦略目標(KPI)		進捗状況及び取組・成果	
大宮通りの景観・環境整備を引き続き進めます。		年2回の花の植え替え、冬期のイルミネーション設置を行いました。	
近鉄奈良駅前の景観・環境整備を地元商店街・地元自治会の人々と協力して進め、令和4年度中に整備内容を決定することを目指します。		地域関係者と令和3年8月に勉強会を開催し、広場の基本計画をまとめました。また、駐輪場の使用状況調査を行いました。	
KPI達成等に向けた課題	課題の背景・要因	課題解決のための今後の取組方針	
近鉄奈良駅前の整備を進めるにあたり、地元、関係機関と綿密な調整を行う必要があります。	整備にかかわる関係者が多岐にわたるため、地域関係者のスケジュールの調整が困難です。	引き続き勉強会を開催し、有識者を講師に招き、地域関係者と目指すべき近鉄奈良駅周辺の空間設計を推進していきます。	
	今年度の取組(~7月)	必要に応じて、公共交通事業者等の関係事業者と事業の進め方などについて別途協議を行います。	
	広場の基本計画をもとに基本設計、建物の基本計画の策定のため関係者の意見を伺いました。		

坊	4 魅力ある観光地づくり	CC	地域デザイン推進局 平城宮跡事業推進室長
テーマ	(21) 大極殿院南門、平城宮跡東側、平城宮跡南側の整備	進捗状況及び取組・成果	
戦略目標(KPI)		進捗状況及び取組・成果	
平城宮跡東側の歴史体験学習館は令和7年度の完成を目指します。		令和3年度は体験・交流内容等のコンテンツに関する計画の検討を行い、結果を踏まえ、遺産影響評価を受けました。	
平城宮跡南側に暫定整備する駐車場は令和3年秋の運用開始を目指して整備を行います。		令和3年5月に工事着手し、10月より「県営奈良めぐり平城宮跡前自動車駐車場」として運用を開始しました。【KPI達成】	
KPI達成等に向けた課題	課題の背景・要因	課題解決のための今後の取組方針	
歴史体験学習館の計画検討及び整備過程において、遺産影響評価を受けながら進める必要があります。	歴史体験学習館の計画地には世界遺産の周辺環境を直接保護するための区域を含むことから、施設建設が平城宮跡の持つ普遍的価値に与える影響について考慮する必要があります。	令和4年度は体験・交流内容等のコンテンツに関する基本設計を進めると共に、文化財発掘調査の結果を踏まえ、遺産影響評価を受けます。	
	今年度の取組(~7月)	令和5年度以降においても、完成まで引き続き遺産影響評価を受けながら進めます。	
	文化財発掘調査に向けた関係機関との協議を行いました。		

坊	4 魅力ある観光地づくり	CC	県土マネジメント部 道路政策官(道路建設課長事務取扱)
テーマ	(22) 中町「道の駅」の整備		進捗状況及び取組・成果
戦略目標(KPI)		進捗状況及び取組・成果	
令和5年度の道の駅の供用開始を目指します。		建築物の基本・実施設計が完了し、令和4年1月より造成工事に着手しました。	

KPI達成等に向けた課題	課題の背景・要因	課題解決のための今後の取組方針
公共交通の結節点機能及び地域観光のゲートウェイ機能を実現させることが必要です。	路線バスや高速バスなどの乗り入れの実現や周辺観光施策との連携には、関係機関の協力が必要です。	<p>周辺観光施設との連携の具体化に向け、奈良市などの周辺市町や観光協会等と協議を進めます。</p> <p>バスターミナルへの路線バスや高速バス、新たな路線の乗り入れ実現に向け、交通事業者と協議を進めます。</p>
	今年度の取組(~7月)	
	奈良市などの周辺市町や観光協会との協議及び交通事業者との協議を行いました。	

坊	4 魅力ある観光地づくり	CC	県土マネジメント部 道路政策官(道路建設課長事務取扱)
テーマ	(23) 自転車の周遊環境整備と安全利用		進捗状況及び取組・成果
戦略目標(KPI)		進捗状況及び取組・成果	
世界遺産周遊サイクルートの整備を推進します。		1周約70kmのうち約48kmにおいて、案内誘導サイン等の設計を実施しました。	

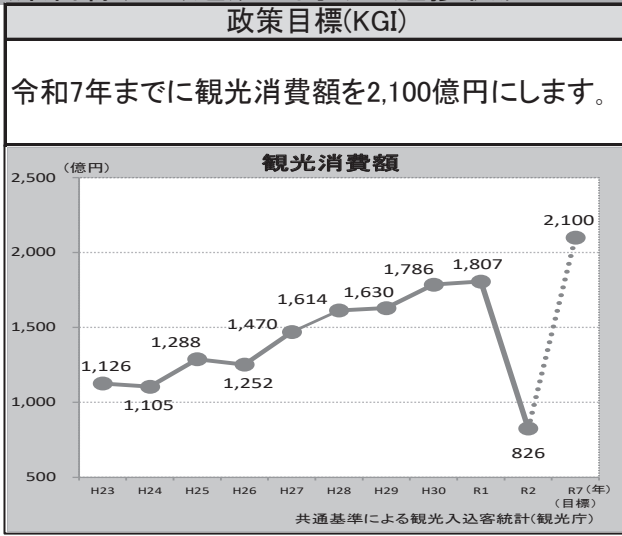
KPI達成等に向けた課題	課題の背景・要因	課題解決のための今後の取組方針
景観へ配慮した案内誘導サイン等の設置が必要です。	世界遺産周辺をルートに設定しているので、サインの充実にあわせて景観への配慮が必要です。	<p>関係市町村等と景観協議を行いながら、設計業務を進めます。</p> <p>協議が完了し、設計を実施した区間において、令和4年度に工事着手します。</p>
	今年度の取組(~7月)	
	案内誘導サイン等の設計業務の入札手続きを進めています。	

Ⅱ 賑わう「都」をつくる

坊
5 魅力向上・発信

担当部局等
観光局、食と農の振興部

政策目標(KGI)達成に向けた進捗状況



基準値	実績値(a)	進捗状況		目標値 (達成率)
		目安値(b)	進捗率(a/b)	
H23年	▲300 億円	R2年	R2年	47.1%
1,126	826	1,752	③90%未満	2,100 (基準値未満)
指標の評価(基準値からの動向、直近の動き、進捗状況等)				
奈良県の観光消費額は近年増加傾向にありましたが、令和2年の観光消費額は826億円と、前年比▲981億円(▲54.3%)の減少となり、基準値を下回りました。				
背景・要因等				
新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により観光入込客数が前年比で▲10,527千人(▲38.5%)と大きく減少したことが影響し、観光消費額が減少しました。				

関連する戦略目標(KPI)の進捗状況

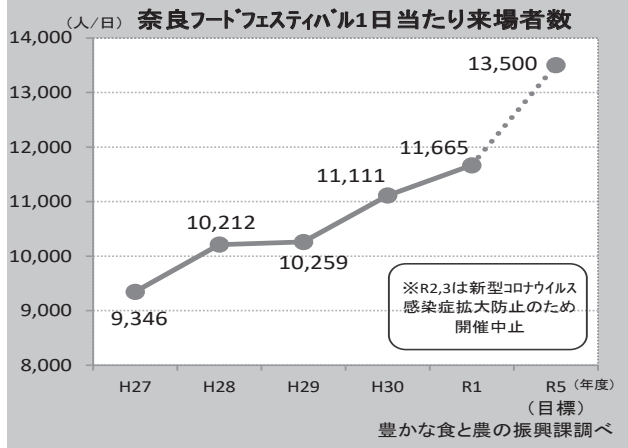
テーマ 戦略目標(KPI)	基準値	実績値(a)	進捗状況		目標値 (達成率)
			目安値(b)	進捗率(a/b)	
(24) 県内イベントの充実 新たなコンテンツ及び奈良伝統コンテンツの活用をさらに進めます。 県内イベントへの幅広い年代層の参加を図るため、令和3年度までに菊人形展の来場者における若年層(30代以下)の割合を向上させます。					
(25) 食の振興 令和5年度までに奈良フードフェスティバル1日当たり来場者数を13,500人/日にします。	H27年度	R1年度	R1年度	102.1%	R5年度
(26) 海外プロモーション・東京プロモーションの展開 令和7年までに外国人旅行者数を450万人にします。	H27年	R2年 (1月~3月)			R7年
(27) 「奈良まほろば館」新拠点への移転 令和3年7月の移転に向け、整備を進めます。					
(28) 奈良県観光総合戦略の策定と実行 令和3年度に観光総合戦略を策定します。					

各テーマの戦略目標(KPI)達成に向けた進捗状況

坊	5 魅力向上・発信
テーマ	(25) 食の振興

CC(チーフコーディネーター)
食と農の振興部
豊かな食と農の振興課長

戦略目標(KPI)
令和5年度までに奈良フードフェスティバル1日当たり来場者数を13,500人/日にします。



基準値	実績値(a)	進捗状況		目標値(達成率)
		目安値(b)	進捗率(a/b)	
H27年度	R1年度 11,665 +2,319人/日	R1年度	102.1%	R5年度
9,346		11,423	①100%以上	13,500 (55.8%)

指標の評価(基準値からの動向、直近の動き、進捗状況等)
奈良フードフェスティバルの1日当たりの来場者数は、基準値から令和元年度には、2,319人増加し、達成率は55.8%と目標に向かって順調に進捗しています。

背景・要因等
県産食材の魅力や「奈良のおいしい食」を県内外の人々に知ってもらい、楽しく味わってもらうため、食の賑わいづくりを継続的に実施して順調に来場者が増加してきました。令和2年度および令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止しました。令和3年度ではイベントに代えて県産食材や食の魅力伝える動画を作成し情報発信しました。

KPI達成に向けた取組・成果		
取組①	プレミアムセレクトによる農産物ブランド化や奈良まほろば館でのプロモーション活動により、食のブランド力強化を進めました。また、地元食材を味わえる宿泊設備付きレストラン(オーベルジュ)のPRを図り、食を通じた地域の賑わいづくりを促進しました。	成果① イチゴ「古都華」が奈良のブランド品として認識され高単価で取引されるとともに、奈良まほろば館でのテストマーケティングで魅力ある農産加工品46品目を掘り起こしました。また、食での賑わいづくりではオーベルジュ12カ所を掲載したガイドブックを令和4年3月に発行しました。
取組②	令和元年度にUNWTO(国連世界観光機関)主催のガストロミーツーリズム世界フォーラムの国内開催候補地として奈良県が選ばれ、誘致に向けてシンポジウムを開催しました。	成果② 令和4年度のガストロミーツーリズム世界フォーラムの奈良県開催が決定しました。

KPI関連指標	指標の動き						指標の動きの要因
奈良県アンテナショップ「うまいものプラザ」来客数(人)	H30年度	↗	R1年度	↘	R2年度	↗	令和2年度は新型コロナウイルス感染症の拡大で大幅に減少しましたが、令和3年度は往来者も増え増加に転じました。
	81,754	+372人	82,126	▲17,813人	64,313	+1,493人	
協定農産物直売所締結数[累計](店舗)	H30年度	→	R1年度	→	R2年度	↗	新鮮で美味しい県産食材を求めるニーズは強く、新規協定直売所も増加しました。
	37	+0店舗	37	+0店舗	37	+4店舗	

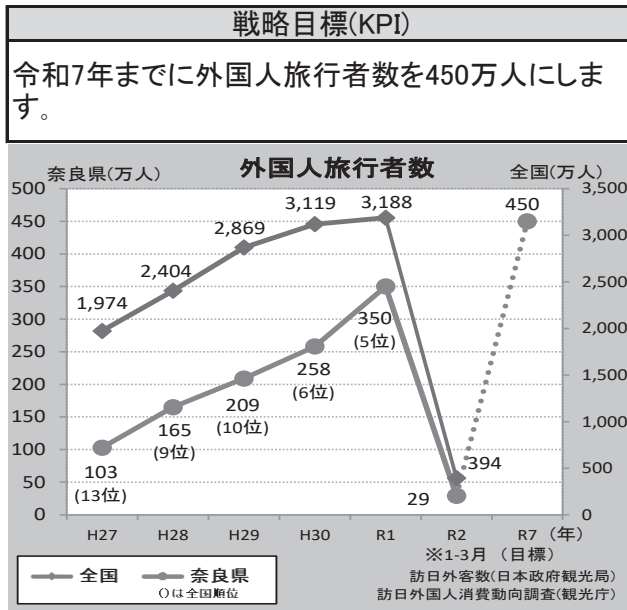
進捗状況を踏まえた課題の明確化、課題解決のための今後の取組方針

KPI達成等に向けた課題	課題の背景・要因	課題解決のための今後の取組方針
来訪者を増やすため、コロナ禍での食イベントの実施方法の検討が必要です。	令和4年度に再開予定のフードフェスティバルをきっかけに、県内各地域へ美味しい奈良の食を目当てに訪れてもらえるよう、ウイズコロナの食イベントについて地域等と連携して取り組むことが必要です。	県内外からの美味しい奈良の食を求める関心は依然として高く、ウイズコロナ時代における食による地域の魅力づくりと幅広い情報発信を進めます。 UNWTO(国連世界観光機関)ガストロミーツーリズム世界フォーラム(令和4年12月開催)を契機として、県内各地域へ、食による魅力発信や賑わいづくりの波及を図ります。
	今年度の取組(~7月) 5月に第1回奈良フードフェスティバル実行委員会を開催し、ウイズコロナを踏まえた食イベントの開催に向けた方針を検討しました。	

各テーマの戦略目標(KPI)達成に向けた進捗状況

坊	5 魅力向上・発信
テーマ	(26) 海外プロモーション・東京プロモーションの展開

CC(チーフコーディネーター)
観光局
観光プロモーション課長



基準値	実績値(a)	進捗状況		目標値 (達成率)
		目安値(b)	進捗率(a/b)	
H27年	R2年 (1月~3月)			R7年
103	29			450

指標の評価(基準値からの動向、直近の動き、進捗状況等)

観光庁の訪日外国人消費動向調査が令和2年4月から中止されています。令和2年1~3月までの外国人旅行者数は大きく減少しています。

背景・要因等

新型コロナウイルス感染症対策のため観光目的の入国が停止され、観光需要が減少しています。

KPI達成に向けた取組・成果		
取組①	外国人目線に立った情報発信をするため、「Visit Nara」HPにおいて、定期的にコンテンツ等更新を行いました。	成果① コロナ禍の影響で世界規模の観光需要が減少している中、令和3年4月~令和4年3月で14万件のアクセスがありました。
取組②	奈良県の情報発信拠点であるまほろば館を、令和3年8月に日本橋から新橋へ移転リニューアルオープンし、首都圏における情報発信を強化しました。	成果② 奈良まほろば館の入館者数が対前年比で7千人増加し、着実に情報発信力は向上しています。

KPI関連指標	指標の動き				指標の動きの要因	
	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	H30年度	R3年度
「Visit Nara」HPアクセス件数(万件)	73 ▲1万件	72 ▲54万件	18 ▲4万件	14	新型コロナウイルス感染症対策のため観光目的の入国が停止され、観光需要が減少しています。	
奈良まほろば館の入館者数(千人)	273 +1千人	274 ▲120千人	154 +7千人	161	移転後の情報発信強化により、来館者が順調に推移しています。	

進捗状況を踏まえた課題の明確化、課題解決のための今後の取組方針

KPI達成等に向けた課題	課題の背景・要因	課題解決のための今後の取組方針
観光需要が大幅に減少しているため、コロナ禍前の水準へ戻す必要があります。	新型コロナウイルス感染症対策のため観光目的の入国が停止されており、観光需要が大幅に減少しています。	コロナ禍後を見据えてSNS等を活用したプロモーションを実施します。海外向けHPのコンテンツの更なる充実により、引き続き魅力ある奈良の観光情報の提供を行い、アクセス数の増加を図ります。
	今年度の取組(~7月) 海外向けHPにより継続的に情報を発信することにより、訪奈良観光需要の喚起を図りました。	移転リニューアル1周年を契機としたPRや、メディアでの取り上げを意識した発信などにより奈良まほろば館の認知度拡大を図ります。物販スペース、イベントスペース及びレストランの各機能が連携することで相乗効果を高めたイベントを展開していきます。

数値目標が設定されていないテーマ等の進捗状況、課題の明確化、今後の取組方針

坊	5 魅力向上・発信	CC	観光局次長
テーマ	(24) 県内イベントの充実		
戦略目標(KPI)		進捗状況及び取組・成果	
新たなコンテンツ及び奈良伝統コンテンツの活用をさらに進めます。		令和3年度は、3密を避けるなど、新型コロナウイルス感染症対策を講じたうえで、天平祭 秋、ムジークフェストなら、馬見チューリップフェア、なら瑠璃絵、大立山まつり等のイベントを開催しました。	
県内イベントへの幅広い年代層の参加を図るため、令和3年度までに菊人形展の来場者における若年層(30代以下)の割合を向上させます。		菊人形展をはじめ、県内イベントの開催にあたり、SNSでの広告等を実施し、若年層等に訴求しました。菊人形展の来場者のうち若年層の割合はほぼ横ばいでしたが、来場者数は前年度より増加しました。	

KPI達成等に向けた課題	課題の背景・要因	課題解決のための今後の取組方針
安全・安心に配慮しつつ、新たなニーズや技術を活用した先駆的かつ魅力的なイベントを展開していく必要があります。	新型コロナウイルス感染症の影響で全国的にイベントの開催制限が行われるとともに、デジタル化の推進により、イベント開催の方法が多様化し、参加者のニーズが変化しています。	<p>県内イベントにおいて新型コロナウイルス感染症対策を徹底します。 また、今後の新型コロナウイルス感染症対策の国通知等の動向についても早期に情報をつかみ、イベントにおける対策案を検討します。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の動向に注目しつつ、コロナ禍で変化した参加者のニーズに対応するため、開催にあたって、LIVE配信やオンラインイベント等のデジタル化の推進も併せて検討します。</p>
	今年度の取組(~7月)	
	ムジークフェストなら2022を、有観客公演に加えて、LIVE配信等のオンライン技術を取り入れて開催しました。	

坊	5 魅力向上・発信	CC	観光局 観光プロモーション課長
テーマ	(27) 「奈良まほろば館」新拠点への移転		
戦略目標(KPI)		進捗状況及び取組・成果	
令和3年7月の移転に向け、整備を進めます。		令和3年7月に整備完了し、令和3年8月にリニューアルオープンしました。県産品の展示会や、オンライン商談会、チャレンジリーグの開催のほか、本県の魅力を発信する多様なイベントを実施するなど、更なる誘客促進に取り組んでいます。【KPI達成】	

坊	5 魅力向上・発信	CC	観光局 ならの観光力向上課長
テーマ	(28) 奈良県観光総合戦略の策定と実行		
戦略目標(KPI)		進捗状況及び取組・成果	
令和3年度に観光総合戦略を策定します。		令和3年7月に「奈良県観光総合戦略」を策定しました。8月には、県内市町村、観光関係事業者などを対象に説明会を実施しました。戦略の実現推進に向けては、観光振興の土台づくりが必要となるため、10月より、県内地域で関係市町村や事業者との対話(勉強会)を継続して実施している他、令和4年度には、人材育成プログラムや、シンポジウム、研修会の開催等、観光産業人材の育成強化にも取り組みます。【KPI達成】	